



「誰一人取り残さない社会の実現へ」
曹洞宗はSDGsを推進しています。

性の違いって 何んだらう？

仏教とは「いのちの在り方」や「生き方」を示すものであり、
その根源の「性」について考えることは
1人ひとりの「いのち」に思いを馳せることでもあります。
女性とは？ 男性とは？ LGBTQとは？
多様な「性（せい）」の在り方から見えてくる「生（せい）」とは？
お話しいただくのはトランスジェンダーで行政書士、
現・新宿区議のよだかれんさんです。どうぞお楽しみに！



11月8日(日)

18:30~20:30

18:30~ 成道会法要と法話
(大泉寺住職：久保井賢丈)
19:00~ 講演会

参加費
無料

オンラインにて開催

※詳しくは裏面をご覧ください。

主催：大泉寺

東京都八王子市大和田町7-13-1





よだかれん

愛知県豊橋市出身、沖縄県那覇市育ちの48歳。

青山学院大学法学部卒業後、男性ダンサー・ミュージカル俳優として活動。

36歳のときに本当の性自認に気がつき、女性として生きていくことを決意。

ホルモン療法、性別適合手術を経て、家庭裁判所へ申立をして戸籍の性別も女性へ。

ダンサーとして舞台上に立ちながら、2013年行政書士試験に合格し、即開業。

政党に属さずに出馬した2019年4月新宿区議会議員選挙にて、38人中第4位で初当選!

無所属ひとり会派「ちいさき声をすくいあげる会」として張り切って活動中。

「成道会(じょうどうえ)」と「鹿野苑(ろくやおん)」

今から2600年程前の12月8日、インドのブッダガヤという地の一本の菩提樹の下で、お釈迦さまはお悟りを開かれました。これを成道といい、この日を成道会(じょうどうえ)といいます。お悟りを開かれたお釈迦さまは、その教えを広く理解してもらおうと決意され、ブッダガヤをあとにします。

山を降りられたお釈迦さまは、鹿野苑(ろくやおん)へと向かいました。そこにはかつて苦行を共にした仲間がいたからです。しかし、苦行を捨てたお釈迦さまを、かつての仲間は受け入れようとしません。悩まれたお釈迦さまは、鹿野苑(ろくやおん)に集まる鹿たちを相手に自分のお悟りを初めて説法しました。

この説法を隠れて聞いていた五人のかつての修行仲間は、そのお悟りの説法に感銘を受け、すぐにお釈迦さまの最初の弟子になるのです。

この故事にならい、当山でも成道会の行事を「鹿野苑(ろくやおん)のつどい」と題した学びの場にしております。

「大泉寺 鹿野苑のつどい」が、共につどい、共に知り、共に考える場になっていったら幸いです。

大泉寺成道会 鹿野苑のつどい

第1回 2017「シリアで出会ったイスラム」小松由佳さん

第2回 2018「教誨師～刑事施設で活動するお坊さん～」
太田賢孝老師・川上宗勇老師・久保井賢丈老師

第3回 2019「福島からの自主避難」鹿目久美さん

●参加希望の方は、お問合せフォームに「鹿野苑のつどい」参加希望とご記入のうえ、お名前とご住所（市区町村）をお知らせください。

●参加希望の方に後日zoomアドレスをお知らせします。

●お申込みいただいた方は当日より7日間、講演をご覧いただけます。

【お問合せ】 042-645-9558

【お申込み】 大泉寺HP「お問合わせフォーム」より →

